



コレクション展Ⅱ「わたしのいる場所ーコレクションから「女性」特集！」展
連こどものイベント

「かさねてえがこう！」

- 開催日時：2024年9月29日(日) 13:00～15:30
- 参加者：こども14名、保護者11名
- 対象：小学3年生～中学生
- 場所：アトリエ2、常設展示室

■概要

常設展示室で開催されているコレクション展Ⅱを鑑賞した後、山崎つる子の作品に注目して、みんなで"かさねて"作品をつくりました。

■1 オリエンテーション

みんなではじまりのご挨拶をした後、コレクション展Ⅱを企画した武澤学芸員から、展覧会について、そして出品作家の山崎つる子についての解説がありました。「山崎つる子は1960年代に活躍した画家で、具体という美術のグループに所属していました。作品をみると、丸や三角、縞模様などが描かれています。これはどんな順番で描いたと思う？これから実際にみんなで作品を観に行こうと思います」お話の後、展示室へ向かいました。



学芸員によるレクチャー

◇こどもの感想（※原文をそのまま紹介）

- ・美術館内の作品（特に山崎つる子さん）のが、見るだけでワクワクしました（小4）
- ・いろいろなものをかさねると、自分が思っていたじょうのおもしろい作品を作れて楽しかったです（小5）
- ・色を混ぜることは水彩絵の具でよくしていましたが、重ねることはなかったので、新しい体験ができてよかった（保護者）
- ・実際に展示室にて作品をみてから、制作をすることで、イメージを表現しやすくてとても良かったです（保護者）

■2 展覧会の鑑賞

では、みんなで展示室へ！武澤学芸員と一緒に話しながらか山崎つる子の《作品》を鑑賞しました。「なにが描かれている？」「山崎さんはどんな順番にこの作品を描いたのかな？」との問いに、参加者は「水色が下に隠れているから、水色から描いたと思う！」や「雲の形を描いているんじゃないかな？」などと、しっかり作品を観察しながら、さまざまな意見が出ました。一緒に鑑賞していた保護者の方々もこどもたちの回答に興味津々でした。



鑑賞の様子

■3 制作開始！

最初にミュージアムティーチャーによる制作のデモンストレーションがありました。あらかじめ配布された画用紙を下地に、絵を描いたシート、色紙を貼ったシートを重ね合わせる「レイヤー」という技法で作品を作ります。

こどもたちも用意されたさまざまな材料から好きな材料を選び、透明シートに絵の具を塗ったり、カラーセロファン、色画用紙などを切って作ったかたちを貼ったり、色を重ねたりしました。「明るい色を組みわせたい」「黒い画用紙を下地にする！」などのアイデアが飛び出しました。



制作の様子

■4 ふりかえり

最後は、書画カメラを使用して作った作品を見せ合いながら、発表をしました。「私は雨上がりが好きなので、水たまりや空の色など青色をかさねて作品をつくりました」「作る時間が少し足りなかったけれど、組み合わせたら上手に作る事ができました！」

他にも、透明シートを前景、中景、後景とうまく重ねて、ひとつの風景を作ってくれた参加者もいました。重ねる順番によって色や見え方が変わり、同じ素材をつかっていても、青色がいっぱいに広がる作品や、縞模様が美しい作品、絵の具の質感が面白い作品など、多様な作品が完成しました。



作品発表

□担当学芸員からのコメント

一般に想像する絵筆で描く方法とは異なる「かさねて」描く制作に、こどもたちはどんな反応を示すだろう？と思いましたが、まったくの杞憂でした。たくさんのセロハンや素材を前に、レイヤー構造にしたり遠近感を演出したり、それぞれ独創的な方法で材料を重ねながら作品をつくってくれました！ご参加してくれた皆さん、ありがとうございました。（武澤学芸員）